

わが家の防災スタートブック(3) 減 災 編

☆ 建物の耐震化と命を守る工夫

1981年6月に耐震基準が強化。それ以前の建物は耐震診断・補強工事が望ましい。
古い木造の建物は一階が潰れる危険性が高いので、できるだけ2階で過ごす。
緊急地震速報や初期微動があったら、念のために外に避難する。

1 室内の安全化

寝室や子供部屋にはできるだけ家具をおかないか、低い家具だけにして安全度を高める。
家具の倒れる方向には寝ないようにする。

2 家具転倒防止

突っ張り棒、L字金具等は正しいつけ方をする。天井との隙間を段ボール等で埋めるのも有効。

高層の建物ほど揺れが大きくなる可能性が高いので、低い家具にするか作りつけがのぞましい。

古い木造建物は揺れが大きくなる可能性が高いので、低い家具にするか作りつけがのぞましい。

マンション等のキッチンには逃げ場が少ないので、転倒防止をしっかりとこなう。

最低でも家具の下に重いものをおき、手前に木片などをはさみ、壁に立てかける。壁から離すのも有効。

3 落下防止

家具等の上に重いもの、危険なものを置かない。
額や時計は要注意。掛けたい場合は壁にしっかり固定する。

4 ガラスの飛散防止

窓ガラス、食器棚のガラス等には飛散防止フィルムを貼る。
できるだけカーテンをひいておく。

5 テレビ、パソコン等の飛び出し防止

耐震(粘着マット)を下に敷く。

6 食器棚

食器の下に滑り止めシートを敷く。
開き戸の場合はフックや扉開き防止ストッパーをつける。

7 洗濯機、冷蔵庫

壁に転倒防止ベルトをつけるか耐震マットを活用する。

8 照明器具

つり下げ式の照明器具は危険性が高い。使いたい場合はチェーンで補強する。